施策の評価シート（令和５年度分）

1　計画における位置付け

政策体系	総合計画	目標	03	いのちと暮らしを守るまちづくり		
		基本政策	06	防犯・交通安全対策の強化	管理コード	030618
		施策	18	交通安全対策の強化	本冊ページ	64
	関連個別計画		津市教育振興ビジョン後期基本計画			
担当部局			市民部、建設部、教育委員会			
施策の内容（番号）			057	～	058	

2　「施策の内容」の総合評価と今後の方向性

番号	施策の内容	「施策の内容」の総合評価 選択区分	今後の方向性 選択区分	担当課
057	警察等関係機関や地元自治会等と連携しながら、交通安全施設の更新や通学路等の整備を推進するとともに、子どもや高齢者などを軸とした交通事故防止対策に取り組みます。	A	①	市民交流課/学校教育課
058	交通事故防止に向け、交通安全指導に努めるなど市民の交通安全意識の向上に取り組みます。	A	①	市民交流課

※「施策の内容」の総合評価…A=80点以上、B=60点以上80点未満、C=40点以上60点未満、D=20点以上40点未満、E=20点未満
※今後の方向性…①=効果的な事業構成であるため、方向性を維持、②=概ね効果的な事業構成であるが、一部見直し等の余地がある、③=あまり効果的な事業構成ではないため、見直しの余地が大きい、④=事業構成に問題があるため、抜本的な見直し等が必要

3　「施策」の総合評価

	区分	選択区分	総評（施策の進捗状況や効果等を端的に記載）
「施策の内容」の総合評価を根拠とした「施策」の総合評価	A　80点以上 B　60点以上80点未満 C　40点以上60点未満 D　20点以上40点未満 E　20点未満	A	放置自転車防止対策事業に関しては、滞りなく撤去を要する自転車の撤去を行いました。交通規制表示等の設置及び維持修繕に関しては、学校や地元自治会等からの要望を基に警察への調整・依頼を行ったほか、交通安全父母の会等の団体に対する補助も行いました。また、通学路の危険箇所改善に向けて要望を対策機関に依頼し、合同点検を実施するなどによって対策実施率及び対策箇所数は令和4年度を上回りました。これらにより、交通安全対策の強化が進みました。

※総合評価は、「施策の内容」の総合評価をポイント化したものをベースに自動的に判定しています。

計画期間における達成状況

年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
総合評価	A	A	A	A	A	A				

※計画期間である平成30年度（2018年度）から令和9年度（2027年度）の本施策の内容に関する推移を示します。

施策の内容評価シート（令和5年度分）

1　計画における位置付け

政策体系	総合計画	目標	03	いのちと暮らしを守るまちづくり		
		基本政策	06	防犯・交通安全対策の強化	管理コード	030618057
		施策	18	交通安全対策の強化	本冊ページ	64
	関連個別計画		津市教育振興ビジョン後期基本計画（令和5年度～令和9年度）			
担当部局			市民部、建設部、教育委員会			
施策の内容（第2次基本計画）※目指す方向性・各事業の実施により期待される効果			057	警察等関係機関や地元自治会等と連携しながら、交通安全施設の更新や通学路等の整備を推進するとともに、子どもや高齢者などを軸とした交通事故防止対策に取り組みます。		

2「施策の内容」に係る主な事業の評価（事務事業評価）

番号	事業名	担当課	事業の内容	事業の目的		事業の評価		事業の振り返りとこれから（実施評価、事業評価、今後の方向性を選んだ理由）
				効	事業の実施により直接的に表れる効果	◆ 当初の事業実施計画	実施評価	
				誰	誰のための事業か	◇ 事業評価の主な視点	事業評価	
				何	何のための事業か	決算額（千円）	今後の方向性	
057-1	放置自転車防止対策事業	市民交流課	放置自転車の整理・撤去・返還等業務委託	効	駅周辺における交通の安全確保を図り、良好な環境づくりに資する。	◆ 年間900台以上放置自転車を撤去する	○	撤去を要する自転車数が計画の7割ほどであったものの、撤去自体は滞りなく行った。交通の安全確保を図るため、引き続き事業に取り組む。
				誰	市内外の人々	◇ 撤去台数実績	○	
				何	安全で円滑な交通環境の中で生活をする	33,774（千円）	拡充・充実	
057-2	交通安全施設等整備事業	市民交流課	交通規制標示等の設置に関する調整	効	交通安全施設の維持管理を行うことで、安全安心な交通環境を整える。	◆ 学校・地元自治会等からの要望を警察へ調整・依頼する。	○	学校・地元自治会等からの要望を警察へ調整・依頼した。安全安心な交通環境を整えるため、引き続き取り組んでいく。
				誰	市内外の人々	◇ 全件要望書提出	◎	
				何	交通事故のない安全安心な街で生活をする	0（千円）	拡充・充実	
057-3	交通安全施設等維持事業	市民交流課	交通規制標示等の維持修繕に関する調整	効	交通安全施設の維持管理を行うことで、安全安心な交通環境を整える。	◆ 学校・地元自治会等からの要望を警察へ調整・依頼する。	○	学校・地元自治会等からの要望を警察へ調整・依頼した。安全安心な交通環境を整えるため、引き続き取り組んでいく。
				誰	市内外の人々	◇ 全件要望書提出	◎	
				何	交通事故のない安全安心な街で生活をする	0（千円）	拡充・充実	
057-4	交通安全対策連携事業	市民交流課	交通安全対策会議に対する負担	効	関係団体が、負担金を活用し、交通安全対策に関する活動を行う。	◆ 対策会議1件に負担する	○	計画していた金額の負担金を支払った。関係団体が効果的な交通安全対策に関する活動を行えるよう引き続き協力していく。
				誰	関係団体	◇ 負担金支払い実績	◎	
				何	交通安全対策に関する活動をしやすくなる	7,050（千円）	拡充・充実	

施策の内容評価シート（令和5年度分）

057-5	交通安全父母の会等補助事業	交通安全父母の会等に対する補助	効	関係団体が、補助金を活用し、交通安全対策に関する活動を行う。	◆ 20件補助を行う	○	計画の8割ほどの団体に補助を行った。関係団体が効果的な交通安全対策に関する活動を行えるよう引き続き協力していく。
			誰	関係団体	◇ 補助金交付実績	◎	
	市民交流課		何	交通安全対策に関する活動をしやすくなる	492（千円）	拡充・充実	
057-6	通学路安全対策連携事業	通学路の危険箇所改善に向けての関係機関（警察・道路管理者・学校・PTA等）との連携	効	登下校する環境が整う	◆ PTA・学校等からの全ての要望を警察・道路管理者等の対策機関へ依頼・調整する。	◎	要望を対策機関に全件依頼し、合同点検を要する箇所については関係機関を調整し実施したため「◎」とした。 対策（予定）実施率は54.2%で、昨年度を2.3%上回り、対策（予定）箇所数は9箇所増加したため、「◎」とした。 今後も1件でも多くの要望を実現できるよう、関係機関と連携し、引き続き取り組む。
			誰	市内の児童生徒	◇ 対策（予定）実施率 対策（予定）箇所数	◎	
	学校教育課		何	安全に、安心して登下校できる	0（千円）	現状維持	
057-7			効		◆		
			誰		◇		
			何		（千円）		
057-8			効		◆		
			誰		◇		
			何		（千円）		

※実施評価（計画どおり実施したか）…◎=計画を達成（100%以上） ○=概ね計画どおり（80%以上～100%未満） △=計画を下回った（50%以上～80%未満） ×=計画を大きく下回った（50%未満）
※事業評価（効果があったか）…◎=大いに効果が認められる ○=ある程度の効果が認められる △=あまり効果がなかった/事業完了前につき効果の発現に至っていない ×=効果を測定できない
※今後の方向性…（さらなる）拡充・充実、現状維持、見直し、廃止、完了

3 「施策の内容」の総合評価

	区分	選択区分
実施評価・事業評価を根拠とした「施策の内容」の総合評価	A 80点以上 B 60点以上80点未満 C 40点以上60点未満 D 20点以上40点未満 E 20点未満	A

4 今後の方向性

	区分	選択区分
今後の施策の内容の方向性	① 効果的な事業構成であるため、方向性を維持 ② 概ね効果的な事業構成であるが、一部見直し等の余地がある ③ あまり効果的な事業構成ではないため、見直しの余地が大きい ④ 事業構成に問題があるため、抜本的な見直し等が必要	①

※総合評価は、主な事業の実施状況（実施評価）、事業対象者への効果（事業評価）の評価をポイント化したものをベースに自動的に判定しています。
※今後の方向性は、施策の内容の総合評価および主な事業の今後の方向性をベースに自動的に判定しています。

計画期間における達成状況

年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
総合評価	A	A	A	A	A	A				
今後の方向性	①	①	①	①	①	①				

※計画期間である平成30年度（2018年度）から令和9年度（2027年度）の本施策の内容に関する推移を示します。

施策の内容評価シート（令和5年度分）

1　計画における位置付け

政策体系	総合計画	目標	03	いのちと暮らしを守るまちづくり		
		基本政策	06	防犯・交通安全対策の強化	管理コード	030618058
		施策	18	交通安全対策の強化	本冊ページ	64
	関連個別計画					
担当部局			市民部、教育委員会			
施策の内容（第2次基本計画）※目指す方向性・各事業の実施により期待される効果			058	交通事故防止に向け、交通安全指導に努めるなど市民の交通安全意識の向上に取り組みます。		

2「施策の内容」に係る主な事業の評価（事務事業評価）

番号	事業名	担当課	事業の内容	事業の目的		事業の評価		事業の振り返りとこれから（実施評価、事業評価、今後の方向性を選んだ理由）
				効	事業の実施により直接的に表れる効果	◆ 当初の事業実施計画	実施評価	
				誰	誰のための事業か	◇ 事業評価の主な視点	事業評価	
				何	何のための事業か	決算額（千円）	今後の方向性	
058-1	交通安全対策連携事業	市民交流課	交通安全対策会議に対する負担	効	関係団体が、負担金を活用し、交通安全対策に関する活動を行う	◆ 対策会議1件に負担する	○	計画していた金額の負担金を支払った。関係団体が効果的な交通安全対策に関する活動を行えるよう引き続き協力していく。
				誰	関係団体	◇ 負担金支払い実績	◎	
				何	交通安全対策に関する活動をしやすくなる	7,050（千円）	拡充・充実	
058-2	交通安全父母の会等補助事業	市民交流課	交通安全父母の会等に対する補助	効	関係団体が、補助金を活用し、交通安全対策に関する活動を行う	◆ 20件補助を行う	○	計画の8割ほどの団体に補助を行った。関係団体が効果的な交通安全対策に関する活動を行えるよう引き続き協力していく。
				誰	関係団体	◇ 補助金交付実績	◎	
				何	交通安全対策に関する活動をしやすくなる	492（千円）	現状維持	
058-3				効		◆		
				誰		◇		
				何		（千円）		
058-4				効		◆		
				誰		◇		
				何		（千円）		
058-5				効		◆		
				誰		◇		
				何		（千円）		

施策の内容評価シート（令和5年度分）

058-6			効		◆		
			誰		◇		
			何		（千円）		
058-7			効		◆		
			誰		◇		
			何		（千円）		
058-8			効		◆		
			誰		◇		
			何		（千円）		
058-9			効		◆		
			誰		◇		
			何		（千円）		
058-10			効		◆		
			誰		◇		
			何		（千円）		

※実施評価（計画どおり実施したか）…◎=計画を達成（100%以上） ○=概ね計画どおり（80%以上～100%未満） △=計画を下回った（50%以上～80%未満） ×=計画を大きく下回った（50%未満）
※事業評価（効果があったか）…◎=大いに効果が認められる ○=ある程度の効果が認められる △=あまり効果がなかった/事業完了前につき効果の発現に至っていない ×=効果を測定できない
※今後の方向性…（さらなる）拡充・充実、現状維持、見直し、廃止、完了

3 「施策の内容」の総合評価

	区分	選択区分
実施評価・事業評価を根拠とした「施策の内容」の総合評価	A 80点以上 B 60点以上80点未満 C 40点以上60点未満 D 20点以上40点未満 E 20点未満	A

4 今後の方向性

	区分	選択区分
今後の施策の内容の方向性	① 効果的な事業構成であるため、方向性を維持 ② 概ね効果的な事業構成であるが、一部見直し等の余地がある ③ あまり効果的な事業構成ではないため、見直しの余地が大きい ④ 事業構成に問題があるため、抜本的な見直し等が必要	①

※総合評価は、主な事業の実施状況（実施評価）、事業対象者への効果（事業評価）の評価をポイント化したものをベースに自動的に判定しています。
※今後の方向性は、施策の内容の総合評価および主な事業の今後の方向性をベースに自動的に判定しています。

計画期間における達成状況

年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
総合評価	A	A	A	A	A	A				
今後の方向性	①	①	①	①	①	①				

※計画期間である平成30年度（2018年度）から令和9年度（2027年度）の本施策の内容に関する推移を示します。

.